



第6681回

QCサークル京浜地区

オール京浜改善事例大会

◆主催：QCサークル京浜地区 ◆後援：QCサークル本部・(一財)日本科学技術連盟

**大会スローガン：改善から広がる未来への挑戦！
～つなごう 現場の知恵と力～**

本大会は各企業を代表する質の高い改善事例が集い、関東支部改善事例チャンピオン大会の京浜地区代表を選抜します。

製造・技術・品証(SGH)部門、事務・販売・サービス(JHS)部門から発表が行われ、幅広い職場の優れた改善活動の取り組みを学ぶことができます。

必ずみなさまにとって参考となる事例に出会えます。この場を利用して共に成長しましょう！

●日時：2025年11月21日(金) ★クリック➡[京浜地区HP](#)
10:20～16:35（受付開始9:50～）
[申込Forms](#)
[会場アクセス](#)

●会場：日産ウェルフェア横浜 ＊ハイブリッド開催
横浜市神奈川区新子安1-37-1
JR「新子安駅」下車徒歩8分 / 「京急新子安駅」下車徒歩8分

●参加費用（要旨集・昼食含む/税込）※オンライン参加は昼食は含みません
：一般会社：会場 5,500円、オンライン 3,500円
（幹事会社：会場 5,000円 オンライン 3,100円）

●募集定員：150名(先着順) ※申込締切10月24日(金)
（会場参加 定員50名 オンライン参加 定員100名）

※会場参加が定員に達しましたら、オンライン参加に回っていたただく場合がございます
※複数人で集まって聴講する場合は、聴講人数分のお申し込みが必要となります

大 会 プ ロ グ ラ ム

発表時間	時間	内容
9:50～10:20	20	一般聴講者受付
10:20～10:30	10	オリエンテーション/開会挨拶
10:30～11:30	60	3 事例(JHS部門) (発表15分・準備2分・講評3分/件)
11:30～11:40	10	休憩
11:40～12:20	40	2 事例(JHS部門) (発表15分・準備2分・講評3分/件)
12:20～13:20	60	昼食休憩
13:20～14:20	60	3 事例(SGH部門) (発表15分・準備2分・講評3分/件)
14:20～14:30	10	休憩
14:30～15:10	40	2 事例(SGH部門) (発表15分・準備2分・講評3分/件)
15:10～15:20	10	休憩
15:20～16:20	60	【特別講演】 京浜地区世話人 石津 昌平氏
16:20～16:30	10	審査結果発表・表彰式
16:30～16:35	5	閉会挨拶

【特別講演】
青山学院大学 名誉教授 石津 昌平氏

【略歴】
1985年 広島大学工学部システム工学専攻
博士課程修了 博士(工学) 学位取得
1985年 広島大学計数管理工学助手
1988年 東京工業大学社会工学科助手
1989年 愛媛大学経済学科助教授
1991年 青山学院大学経営システム工学科 助教授, 教授
2024年 - 現在 青山学院大学名誉教授



講演テーマ 「今こそみんなで考えよう！これからのQCサークルの力」

少子化や物価高、自然災害、国際紛争や社会経済的な変化、AIの急激な発展などの我々を取り巻く環境は加速度的に変化してきています。その中で仕事の喜びや達成感、自己肯定感、心理的安全性が得にくくなってきているように思えます。

QCサークル活動はPDCAや人間性尊重に基づく人財育成、人間力とチーム力の発揮、科学的な問題解決力や品質文化の育成、AIやDXの活用などがそれぞれの場面に応じて実践されてきています。

閉塞感を感じる今だからこそ現状をよりよくするためにQCサークルの力を発揮することが期待されます。いまこそ必要とされるQCサークルについて講演いたします。



発 表 の 見 どころ ・ 聞 き どころ

発表順		会社名/業種/サークル名/発表テーマ	見どころ・聞きどころ
1	J H S 部 門	日本電子株式会社/技術統括センター/国からの信頼守り隊 ▶ 国有資産の効率的な管理をめざして ― バーコード管理の導入 ― ～資産の一元管理とコンプライアンス強化のための取組～	QCや改善提案は、効果を金額で評価することが多いですが、私たちはお金ではなく「信頼」を重視した取り組みを行いました。実際に直面した事例を通して、この取り組みの重要性和、企業としての信頼を守る一端を担っているという自覚を持つことができました。
2		コマツ物流株式会社/運輸/アラフォーサークル ▶ シリンダー納入代行作業改善	1.仕分け作業の複雑さの苦勞を発表資料にてご確認ください 2.他部署への意見も取り入れながら、サークル内で意見を出し合いながら治具を作成していった点。 3.安全性や作業操作性、リターナブルを考慮した、治具を作成する際に様々な素材を検証し一番適した素材を発見し採用した点。
3		東京都福祉施設士会/特別養護老人ホーム泰山/コアラのマーチサークル ▶ 高齢施設での障害者入浴支援 ～地域貢献事業の一環として高齢施設の活用法はどうあるべきか～	福祉の業界は高齢・児童・障害・養護と認可事業であることから、法令も所轄も分かれており、混合の事業の実現は難しいとされている中、社会福祉法人に義務付けされている地域貢献の一環として取り組める事、人材育成、地域への還元、何をもたらすのか検証しています。
4		株式会社TMJ/コンタクトセンター運営/アップアップチーム ▶ センターにおけるSTOP！売上ダウン ～オペレーターの育成でスキル定義の変更に対応せよ！～	私たちは大手クレジットカード会社のお客様窓口を担当しています。クライアントの方針転換によりオペレーターのスキル定義が変更になりセンターの売りに上げに影響する大ピンチとなりました。管理者4名が立ち上りオペレーターを育成して売上減少を阻止するべく挑戦した事例です。
5		コニカミルタ株式会社/情報機器/パワーアップサークル ▶ 業務の効率化におけるICTツールスキルレベルの向上	世の中でD Xが加速し、私たちの職場でも「D Xによる業務の効率化」が方針に掲げられています。闇雲に効率化を行うのではなく、業務効率化するためのD Xスキルに着目し、Q C的観点の「源流管理」の考えで問題の本質改善に取り組みました。
6	S G H 部 門	日産自動車株式会社/製造/ピットインサークル ▶ EV車両SOC値不足によるショートシップの撲滅	EV車両の輸出量増加に伴い、自職場ではSOC量（リチウムイオン電池）の出荷基準への対応を行っています。経験豊富なベテランサークル員から中堅・若手サークル員へ技能伝承を行いながらサークルの課題解決しました。
7		株式会社ジーシー Mfg/製造/材料製造部 材料製造 1 課 集中包装係チーム ▶ ライン包装工程における設備切り替え時間の低減	現場からの「手間がかかる」との声を出発点に、業務改善の4原則「ECRS（排除・結合・交換・簡素化）」に沿って設備切り替え作業を見直しました。シンプルな工夫ながらも高い効果を生み出した、実践的かつ再現性のある改善事例です。
8		日野自動車株式会社/製造/B i n g o !サークル ▶ タンデムデフのオイルシール取り外し作業におけるリップ損傷の撲滅	デフオイル漏れ調査ではオイルシールを損傷なく取外す必要がありますが、構造上損傷させない事が困難でした。サークル員の知恵と工夫で、損傷なくオイルシールを取り外すことができる治具を考案し、デフオイル漏れの原因究明と作業の容易化に繋げ、品質向上に寄与した事例です。
9		理研ビタミン株式会社/医薬品製造/気相サークル ▶ 新棟造粒時 凍結M C捕集の省力化による業務負荷低減 ～製造ライン移管で生じた問題を、非正規社員主体で解決へ～	「当たり前が当たり前でなくなる」——新棟ライン移管で直面した問題を、非正規社員主体の改善活動で突破！旧ラインで当たり前できていた工程が困難になる中、作業者の改善意欲、達成した際の満足度を最優先にした、前向きな挑戦の成果をご覧ください。
10		日産自動車株式会社/製造/ザ・ナックルサークル ▶ PDC鑄造ライン KRシリンダーブロックスター剥がれ不良撲滅による自工程不良率低減 ～鑄造ファミリーを巻き込んだ次期リーダーの挑戦～	次期リーダーを筆頭に現場で現物を見て様々な要因を深く掘り下げ、鑄造ファミリーも巻き込み解析へ。剥がれ不良の原因だった「溶湯の流れ」を部分的に抑える事に成功し解決。難課題を通じて、サークルの知識・技能が向上し連携力も向上することができました。